

職人一人ひとりが支え合って

6月21日、秋田建築労働組合角館支部（支部員182人）による「第25回住宅デー」が立町ボケットパークで開催されました。同支部職人およそ30人で無料の包丁研ぎのほか、木工教室では子どもたちが金づちの使い方や教わりながら一生懸命木製のプランターを作る様子が見られました。参加した方は「普段なかなかできない物作りを子どもたちと一緒にできるのは楽しかった」と話しました。

また、角館西保育園では、同支部員の5人の職人がボランティアで手洗い場や内柵の修繕、壁と柵の隙間の改修作業が行われました。

大石良助支部長は「私が支部長である内は、住宅デーを年間行事にしていきたい。そして、このイベントで少しでも秋田建築労働組合の名前や職人がいるということを知ってもらいたいと思う。また、ボランティア活動はすべて自分たちで材料を持ち込んで行っているが、子どもたちが安全に過ごせるためには労力を惜しまない」と話しました。



子どもたちが安全に園での生活を送ることができるよう改修が行われました。



立町ボケットパークで行われた木工教室。子どもたちは作業に夢中です。

第25回住宅デー

人権擁護委員が委嘱されました

7月1日付で法務大臣から次の方々が委嘱されました。

伊東和子（西木町桧木内）… 再任

茂木一代（角館町小勝田）… 再任 ※敬称略

委員の任期は3年で、地域の皆さんに人権について関心を持ってもらえるような啓発活動や、人権相談などを積極的に行っています。

にしき園だより

— 第7号 —

にしき園は高齢や病気で身体機能の衰えた方にリハビリなどを施し、寝たきりを防いで生活機能の維持向上・在宅復帰をめざす施設です

問 にしき園 ☎47-3211

にしき園の職員が各委員会に所属して活動をしています。

その活動内容をお知らせしていきます。

●**レクリエーション検討委員会**… 利用者の皆さまに楽しんでもいただけるよう季節に合ったレクリエーションなどを計画します。花植え、運動会、夏祭り、クリスマス会など。

●**安全対策委員会**… 利用者の安全対策に係る問題点を調査し、転倒など事故の発生を未然に防ぐよう検討していきます。

●**栄養改善委員会**… 一人ひとりの栄養ケア計画の実施状況を確認し、栄養改善に努めます。毎月1回開催します。



集中してます！



玉入れガンバレ！



感染症予防のため、しばらくの間、施設見学・面会などを遠慮いただいています。

市長の

まちづくり

No.171

日記

『お客さまは神さまです』

仙北市長 門脇 光浩

先日、観光政策の打ち合わせをして、懐かしい言葉を耳にしました。それは「お客さまは神さまです」。ご存じの方も多いかと…。

往年の演歌歌手・三波春夫さんが、舞台で初めて口にしたと伝えられています。興味深かったので調べてみると、私の知る「お客さまは神さまです」とはまったく違う意味合いで驚きました。

一般的には、さまざま無理を言ってお客さまが、「私は客よ。お客さまは神さまですよ」みたいな、上から目線の乱暴な使い方をイメージされるかと思っています。しかし三波さんの思いは別でした。私は毎日仕事を頑張っています。お客さまの前に立つ時は、雑念を払い心をまっさらにして完璧な芸をお見せするだけです。お客さまを神さまと思い、祈る思いで歌を歌います。私にとって客席のお客さまは神さまです」と。慎ましくて誠実な人柄が強く感じられる言葉です。

さて、新型コロナウイルスとの闘いですが、先日までは国や都市間の往来禁止だったたり、外出自粛などで拡大抑止に成果を上げてきました。ところが、この対策が緩んだとたん、各地で第2波が発生

しクラスター情報も複数です。好ましくない状況が続く中、国内でもワクチンの開発治験が始まり、早ければ来年にも実用化とのニュースがありました。完成するまで、私たちは万が一の感染に備え、重篤化しないような医療体制の構築を急いでいます。例えば市立角館総合病院感染症協力医療機関）では、軽症から中等症患者を受け入れる2床の病床準備を終え、さらに県の要請に依って、蔓延期・フェーズ5の対応で、病床数を11床に増やすための改修と体制づくりを進めています。

現状では人の流れが戻っていません。市内の商工観光業界はさらに危機感が高まっています。そこで、市内・県内の皆さんにご協力をいただき、お互いがお客さまになって、売ったり買ったり、泊めたり泊まったりの『近所作戦』が始まっています。遠くから来るお客さまを待つだけではない、お互いが近くの神さまになる相互支援活動です。どうかご協力をお願いします。

支えてくれる人は隣にいます。神さまは近くにいます…。やっぱりお客さまは神さまです。

かくのだてフィルムコミッション

ロケーションだより

Kakunodate Film Commission

かくのだてフィルムコミッション
(仙北市観光課内) ☎43-3352
<https://kakunodate-fc.jp/>

新型コロナウイルスの緊急事態宣言解除後、映像制作も徐々に再開の兆しを見せ始めました。撮影が滞り、TVドラマは再放送や名場面集などを放送していましたが、最近では新たに撮影された番組も増えているようです。

先頃、ジャパン・フィルムコミッションが「新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン」を策定しました。地域のフィルムコミッション（以下FC）が映像撮影支援を行う際に、新型コロナウイルス感染予防対策として実施すべき基本的事項をまとめたものです。

内容は、「ロケ撮影に携わる撮影関係者の緊急連絡先および撮影2週間前までの行動記録を代表者が確認・管理している」「撮影関係者の感染が確認された場合、直ちに撮影を中断し、保健所などの指導に従つ」など、



ロケ支援における新型コロナウイルス感染予防対策チェックリスト。

30以上の項目数となっています。かくのだてFCでは、ガイドラインに沿ってロケ支援時のシミュレーションを行い、緊急時の連絡先も確保しました。すべての内容について確認が取れなかった場合は、かくのだてFCは、ロケ支援を行いません。FC活動に大きな制約を感じますが、地域を守りつつ前に進むためには当然行つべきことだと思います。

現在、100を超える業界・分野で「新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン」が策定され、今後もその数は増えていくようです。

仙北市内の行事や催しの多くが中止となり、観光に関しても大きな影響がありますが、今は何よりも「感染しない・させない」ことを第一に、安全なロケ支援を行ってきたいと思っています。

（会長 坂本 洋）